

建交労 ひかい

2023年6月号

発行：建交労 No.231

岐阜農林建設連合支部

〒501-4234

郡上市八幡町五町1-4-15

電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす

最賃アップと労働時間短縮を訴える！ 労働者の祭典メーデー開催！！



プラカードを掲げる県本部の組合員のみなさん

5月1日に全国256カ所でメーデーが開催され、岐阜市、恵那市などでも開催されました。近年はコロナ禍によりオンラインや不参加により現地開催が出来ない地域もありましたがコロナ禍以前に戻りつつあります。

今年第94回岐阜県中央メーデーのメーデーに参加しました。岐阜農林からは畑中と兼山が参加しました。天気に恵まれ暑さを感じるほどの快晴の中行うことができました。岐阜駅の前で集会がおこなわれ、建交労西濃鉄道分会の長井さんが決意表明しました。私達も長井さんと壇上に上がりプラカードを掲げもりあげました。その後、市街をデモ行進し解散となりました。コロナが終息してまた組合員のみなさんと一緒にメーデーを祝う日が早くくることを願います。

神岡じん肺 裁判

闘いの記録 記念誌が完成!

2009年5月28日に

第1陣を提訴した三井金属神岡鉱山じん肺訴訟。その日から、14年間私たちは一丸となって勝利解決をめざして闘ってきました。その闘いにより、第1陣・第2陣判決で被告の安全配慮義務違反が厳しく断罪され、原告のじん肺被害を認定するという大きな成果を勝ち取ることができました。

この闘いの経緯と到達点を記念誌として出版することになりました。表紙のイラストは、神岡鉱山のある飛騨の山脈をデザインしたものです。題は、原告団が、鉱山の仕事とじん肺の悲惨

さについて、多くの人に知ってもらいたいと上演した劇の題名にしました。

原告団長の水本明治さんは、記念誌について「厳しい闘いをみんなでやり遂げたことをつくづく思いだします。私たちを支えてくださったみなさんに改めて感謝したい。裁判で断罪されてもなお三井金属鉱業は謝罪していません。第3陣訴訟も岐阜地裁で係争中であり闘いは半ばですが、この記念誌を出すことが出来たので勇気をもって解決まで全力で頑張ります。」と笑顔で伝えてくれました。写真やイラストも多数掲

載し、読みやすい内容になっています。ぜひご一読ください。なお、複数冊ご希望

の方は事務所までご連絡ください。



素敵な記念誌ができました!

労災被災者の補償と制度の充実を求める！ 第200回 中部労働局要請を実施！

5月30日(火)、岐阜労働局の要請行動を行いました。毎年、北信越・東海9県の労働局に、労災被災者の迅速な救済と補償の充実を求めて要請するものです。北信越労災合同支部から愛知県の石村書記長、古里書記、トンネルじん肺根絶訴訟・神岡じん肺訴訟の弁護士より岡本弁護士、岐阜県本部 山田執行委員長、岐阜農林建設連合支部の執行部ら12名が参加しました。岐阜労働局は、木勢智一総務課長ら6名が対応しました。

水本執行委員長が要請書を提出。山田県本部執行委員長が挨拶後、トンネルじ

ん肺被災者の救済と根絶、労災職業病の予防対策、認定や療養、労働行政の体制強化の4項目について要請しました。

水本執行委員長が要請書を提出。山田県本部執行委員長が挨拶後、トンネルじ

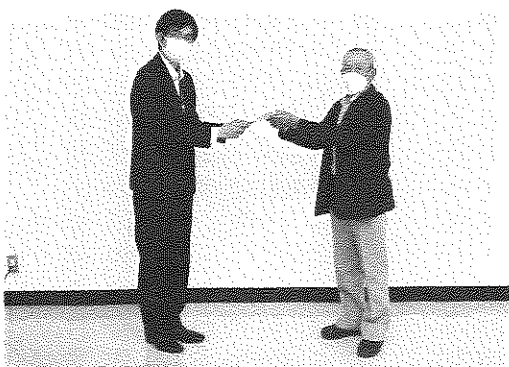
本年度特に強く要請したのは、被災労働者の迅速で公正な保護です。労災保険法は、第1条に「業務上の理由による労働者の負傷、疾病、傷害又は死亡に対し

て迅速かつ公正な保護をす

必要なことは言うまでもありません。皆さんが労災申請されたときは迅速な決定がなされましたか？現実には迅速とはいえない状況が続いています。

また、国家公務員の定員削減も重大な問題です。このままでは、労働者の健康

と命、安全を守るという重要な責務を担う労働行政が崩壊しかねません。私たちは、行政需要にみあった定員大幅増員が必須。(定員削減を求める)「行政機関の機構・定員管理に関する方針」の中止・撤回を国に強くもとめるよう求めました。局は「(増員)は必要不可欠と認識。国に定員削減の中止と増員を求めている」と回答しました。



要請書を渡す水本委員長

2023年5月の活動報告

- 5/16 第4回執行委員会 @郡上市文化センター
 5/18 トンネル作業中のケガについて相談 @静岡県藤枝市
 5/19 神岡じん肺訴訟 闘争本部会議 @郡上市文化センター
 5/30 第20回中部労働局要請(岐阜・愛知) @岐阜労働局ほか

2023年6月の予定

- 6/1 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @リモート参加
 第20回中部労働局要請(山梨) @山梨労働局
 6/6 第5回執行委員会 @郡上市文化センター
 6/7 尾形訴訟 水嶋医師打ち合わせ @リモート参加
 6/8 飛騨分会会議 午後1時～ @古川町中央公民館
 6/9 東濃分会会議 午後1時～ @かさはら福祉センター
 6/14 神岡じん肺訴訟 第6回弁論 @岐阜地方裁判所
 6/17 神岡じん肺訴訟 記念誌出版祝賀会 @高山市
 6/28 なくせじん肺キャラバン実行委員会 @リモート参加
 6/30 神岡じん肺訴訟 弁護団会議 @リモート参加

～お悔やみ～

安藤博子さんが5月9日にお亡くなりました。安藤さんはセラミック製品の制作に従事しておりじん肺症を発症し療養されていました。ご冥福をお祈りいたします

編集後記

「ゼルダの伝説 ティアーズ オブ ザ キングダム」というゲームが5月に発売されました。30年以上も続くゼルダの伝説の今作はストーリーは基本一貫しており、主人公の勇者リンクがガノンという悪者にとらわれたゼルダ姫を救う冒険ものです。今作ではクラフトが目玉となっており、敵を倒す剣や弓矢から、各部品をくっつけて空を飛ぶ乗り物まで発想次第で幅広く物を作るシステムがあります。

しかし日を追うごとにただコマのように回る物や、高度の限界を求めて天高く飛び続けるだけの足場など悪者を倒す勇者には必要のないものがどんどん生み出されています。

ただ無駄に楽しむ人はゲームクリアになんかの貢献もしないと思われませんが、最適解を求める人にとっては重宝されることもあります。

例えば先程上げた例の、コマのように回るものに剣や槍をくっつけて、巨大な敵と戦う時の兵器にすることが出来ます。また本来なら高くそびえたつ塔がある場合、階段やはしごを探す必要があります。しかし、ただ上へ上がるだけの装置ができたことによりどこでも上まで上がることが出来ます。

無駄も極めれば何か大事なものに貢献できることもあるので、しばらくは仕事より遊びに時間を割き、積極的に寄り道をしようかと
 思います。

編集委員 畑中